

◆特定共同研究(A) (研究期間:平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画等のプロジェクトへの、全国の研究者の参加支援)

No.	課題番号	付表の番号	研究代表者名	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2019-A-01 (ERI_01)	-	加納 靖之	加納 靖之	東京大学・地震研究所	企画部 (経費配分先は加納先生)	歴史地震史料を活用した地震学的解析	報告書
2	2019-A-01 (ERI_12)	-	蔵下 英司	蔵下 英司	東京大学・地震研究所	企画部 (経費配分先は蔵下先生)	スロー地震モニタリングに基づく南海トラフ域の地震発生可能性評価手法に関する研究	報告書
3	2019-A-02	-	末次 大輔	末次 大輔	海洋研究開発機構・地球深部ダイナミクス研究分野	清水 久芳	地球深部の構造とダイナミクス	報告書
4	2019-A-03	A0101	小原 一成	須田 直樹	東京大学・地震研究所	小原 一成	陸域広帯域地震観測による深部スロー地震の活動様式解明	報告書
5	2019-A-03	A0109	小原 一成	小原 一成	東京大学・地震研究所	小原 一成	海域広帯域地震観測に基づく浅部スロー地震の活動様式解明	報告書
6	2019-A-03	A0202	小原 一成	廣瀬 仁	神戸大学・都市安全研究センター	小原 一成	GNSSによる西南日本のスロースリップイベントに伴う地殻変動の観測(沖縄諸島)とデータ同化によるすべりの推定	報告書
7	2019-A-03	A0206	小原 一成	廣瀬 仁	神戸大学・都市安全研究センター	小原 一成	スロースリップイベントに関連した地殻流体移動の検出	報告書
8	2019-A-03	B0102	小原 一成	望月 公廣	東京大学・地震研究所	小原 一成	豊後水道周辺域における陸上電磁気観測	報告書
9	2019-A-03	C0201	小原 一成	波多野 恭弘	東京大学・地震研究所	小原 一成	非線形動力学に基づく地震発生過程の統一的理解	報告書
10	2019-A-04	-	中東 和夫	中東 和夫	東京海洋大学・学術研究院	篠原 雅尚	北部沖縄トラフの上部マントル構造	報告書

No.	課題番号	付表の 番号	研究 代表者名	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
11	2019-A-05	A	平田 直	加藤 愛太郎	東京大学・地震 研究所	長尾 大道	多種多様な地震計測データ 利用法とその検証	報告書
12	2019-A-05	B	平田 直	長尾 大道	東京大学・地震 研究所	長尾 大道	最先端ベイズ統計学に基づ く地震波動解析アルゴリズム の構築	
13	2019-A-05	C	平田 直	前田 拓人	弘前大学・大学 院理工学研究科	長尾 大道	インテリジェント地震波動解 析：実データ応用実験とデー タ同化法開発	

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆特定共同研究(B) (研究期間:平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(全国的な規模のグループが実施する、地震予知・噴火予知計画等の事業費に基づかないプロジェクトで将来事業化を目指す計画)

No.	課題番号	新規 継続	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2017-B-01	最終 年度	亀田 正治	東京農工大学・大学院工学研究院	市原 美恵	マグマ破壊シミュレーション手法の開発	報告書
2	2017-B-02	最終 年度	林 直人	東京大学・医学部附属病院	田中 宏幸	医用画像コンピュータ自動検出／診断(computer-assisted detection/diagnosis)技術のミュオグラフィ画像解析への応用	報告書
3	2017-B-04	最終 年度	森島 邦博	名古屋大学・高等研究院	田中 宏幸	原子核乾板によるミュオグラフィ技術の高度化	報告書
4	2017-B-05	最終 年度	井上 邦雄	東北大学・ニュートリノ科学研究センター	田中 宏幸	ニュートリノの到来方向情報を持つ大型検出器による地球深部理解	報告書
5	2017-B-06	最終 年度	佐藤 比呂志	東京大学・地震研究所	石山 達也	沈み込み帯上盤プレートの変形モデルの構築	報告書
6	2018-B-01	継続	吉田 健太	海洋研究開発機構・海洋掘削科学研究開発センター	長尾 大道	データ駆動型解析で推し進める変動帯ダイナミクス研究の深化	報告書
7	2018-B-02	継続	高田 陽一郎	北海道大学・大学院理学研究院	青木 陽介	SARを用いた多角的な地殻・地表変動研究	報告書
8	2018-B-04	継続	山本 真行	高知工科大学・システム工学群	今西 祐一	国内インフラサウンド稠密観測網の確立	報告書
9	2019-B-01	新規	下山 勲	東京大学・大学院情報理工学系研究科	市原 美恵	MEMS空振センサを用いた火山観測	報告書
10	2019-B-02	新規	田中 宏幸	東京大学・地震研究所	田中 宏幸	グローバルミュオグラフィ ネットワークの発展	報告書

No.	課題番号	新規 継続	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
11	2019-B-03	新規	大久保 慎人	高知大学・自然科学系理工学部門	新谷 昌人	精密地球物理観測ネットワークによる地殻活動の総合的な理解	報告書
12	2019-B-04	新規	加納 将行	東北大学・大学院理学研究科	福田 淳一	固体地球現象の理解と予測に向けたデータ同化法の開発	報告書
13	2019-B-05	新規	三浦 哲	東北大学・大学院理学研究科	今西 祐一	重力・測地観測技術の高度化に基づく地殻の流体移動及び非弾性応答の研究	報告書
14	2019-B-06	新規	川勝 均	東京大学・地震研究所	篠原 雅尚 塩原 肇 望月 公廣 竹尾 明子	フロンティア地球観測	報告書
15	2019-B-07	新規	加納 靖之	東京大学・地震研究所	加納 靖之	地震等の歴史自然災害による城郭被害の集成	報告書
16	2019-B-08	新規	塩原 肇	東京大学・地震研究所	塩原 肇	可搬型実用絶対重力計測への量子センシング技術の基盤研究	報告書

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆特定共同研究(C) (研究期間:平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(地震研究所が特別に認めた、共同利用経費以外の資金によって運営される共同研究プロジェクト)

No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	木村 尚紀	防災科学技術研究所	酒井 慎一	首都圏地震観測網(MeSO-net)を使った地震活動・プレート構造の研究	報告書

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆一般共同研究（研究期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日）
 （所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2019-G-01	石橋 秀巳	静岡大学・理学部	安田 敦	斑レイ岩捕獲岩から探る、富士山の珪長質マグマだまりの実態	報告書
2	2019-G-02	鈴木 岳人	青山学院大学・理工学部	亀 伸樹	多孔質媒質中の乱流が生成する固有の滑り速度	報告書
3	2019-G-03	鶴 哲郎	東京海洋大学・海洋資源エネルギー学部門	望月 公廣	東京湾北部における同時発振方式による三次元反射法地震探査システムの実証試験	報告書
4	2019-G-04	藤 浩明	京都大学・大学院理学研究科	清水 久芳	次世代国際標準地球磁場永年変化モデル(IGRF-13SV)の提案	報告書
5	2019-G-05	高木 朗充	気象研究所・火山研究部	前野 深	遠隔からの調査・観測および電磁気構造探査にもとづく西之島の火山活動解明	報告書
6	2019-G-06	杉山 浩平	東京大学・大学院総合文化研究科	金子 隆之	富士山宝永噴火で埋没した建物と堆積物の三次元モデル作成を通じた噴火プロセスの研究	報告書
7	2019-G-07	上栢 英之	国文学研究資料館・古典籍共同研究事業センター	加納 靖之	みんなで石碑解読－碑文のデジタル収集と解読	報告書
8	2019-G-08	中西 一郎	京都大学・大学院理学研究科	加納 靖之	「みんなで翻刻」システムを用いた地方の地震史料の調査・研究	報告書
9	2019-G-09	竝木 則行	国立天文台・RISE月惑星探査検討室	新谷 昌人	小天体内部構造探査のための重力偏差計の開発	報告書

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
10	2019-G-10	飯塚 毅	東京大学・大学院理学系研究科	安田 敦	富士火山のマグマ進化解明に向けた斜長石斑晶の地球化学的研究	報告書
11	2019-G-11	市原 寛	名古屋大学・大学院環境学研究科	上嶋 誠	電磁アクロスの実践的運用試験	報告書
12	2019-G-12	折橋 裕二	弘前大学・大学院理工学研究科	中井 俊一	南米、チリ南部火山地帯を構成する第四紀火山岩中のホウ素の挙動	報告書

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆研究集会 (研究期間:平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(全国の研究者が地震・火山関連分野のテーマについて集中的に討議する研究会)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催予定日	報告書
1	2019-W-01	奥村 与志弘	関西大学・社会安全学部	佐竹 健治	巨大津波災害に関する合同研究集会	2019年12月6日～7日	報告書
2	2019-W-02	前田 晴良	九州大学・総合研究博物館	瀬瀬 一起	減災・防災の徹底に向けた地学教育の展望と課題—北海道胆振東部地震など現場からの直接フィードバック—	2019年8月24日・25日	報告書
3	2019-W-03	木下 正高	東京大学・地震研究所	木下 正高	リアルタイム観測・大深度掘削・高圧実験の統合による沈み込み帯4D描像(大型研究計画MP2020)	2019年8月の2日間	報告書
4	2019-W-04	利根川 貴志	海洋研究開発機構・地震津波海域観測研究開発センター	古村 孝志	広帯域波動現象の観測とその背景にある物理モデルの構築	2019年9月～12月の2日間	報告書
5	2019-W-05	小木曾 仁	気象研究所・地震津波研究部	鶴岡 弘	地震動をはじめとする地球科学データの即時解析・即時予測と情報の利活用	2020年1月上旬の2日間	報告書
6	2019-W-06	松本 聡	九州大学・大学院理学研究院	加藤 愛太郎	超多点・稠密地震観測で迫る、地球内部活動・構造研究の新展開	2019年10月31日～11月2日	報告書
7	2019-W-07	吉村 令慧	京都大学・防災研究所	上嶋 誠 馬場 聖至	地球電磁気学研究における国際共同観測研究の現状と未来 - 普遍性と地域性の理解のために -	2020年1月の2日間	報告書
8	2019-W-08	後藤 和久	東京大学・理学系研究科	佐竹 健治	2019年度津波堆積物研究会	2019年7～9月の3日間	報告書

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催 予定日	報告書
9	2019-W-09	加納 将行	東北大学・大学院理学研究科	小原 一成	スロー地震の発生様式・発生環境・発生原理に関する包括的理解:巨大地震との関連性の解明を目指して	2019年9月22日～24日	報告書
10	2019-W-10	熊谷 一郎	明星大学・理工学部	市原 美恵	キッチン地球科学:手を動かして頭脳を刺激する実験	2019年11月初旬の2日間	報告書
11	2019-W-11	藤江 剛	海洋研究開発機構・地震津波海域観測研究開発センター	山野 誠	海溝海側で生じる過程とその影響:沈み込み帯へのインプットの実態研究	2019年8～9月の2日間	報告書
12	2019-W-12	磯部 洋明	京都市立芸術大学・美術学部	加納 靖之	歴史上の自然現象をめぐる諸分野の対話	2019年7月下旬の3日間	報告書

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆地震・火山噴火の解明と予測に関する公募研究（研究期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日）
 （災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画のうち、「1.地震・火山現象の解明のための研究」、「2.地震・火山噴火の予測のための研究」に関連する新規研究課題）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	研究課題	報告書
1	2019-Y-地震 (現象解明)1	伊藤 高敏	東北大学・流体科学 研究所	新規	南アフリカ大深度金鉱山直下で発生したM5.5地震震源域の力学的・物質科学的解明	報告書
2	2019-Y-地震 (中短期予測) 1	児玉 哲哉	宇宙航空研究開発 機構・研究開発部門 第一研究ユニット	新規	地震先行VLF帯電磁波強度減少研究のための超小型衛星のブレッドボードモデル及びエンジニアリングモデルの製作	報告書
3	2019-Y-地震 (中短期予測) 2	織原 義明	東海大学・海洋研究 所	新規	行政等が所有する宏観異常現象に関わるデータを用いた地震発生の確率予測	報告書
4	2019-Y-地震 (中短期予測) 3	鴨川 仁	静岡県立大学・グ ローバル地域セン ター	新規	地震先行VLF帯電磁波強度減少の発生メカニズムの解明	報告書
5	2019-Y-火山1	望月 伸竜	熊本大学・大学院先 導機構	新規	古地磁気方位を利用した火山層序の高精度化	報告書
6	2019-Y-火山2	後藤 芳彦	室蘭工業大学	新規	カルデラ・リサージェンスモデルに基づく北海道屈斜路カルデラの大規模噴火予測	報告書
7	2019-Y-火山3	佐藤 鋭一	神戸大学・大学教育 推進機構	新規	玄武岩質およびデイサイト質マグマの噴火準備過程の高精度解明	報告書
8	2019-Y-火山4	和田 恵治	北海道教育大学・旭 川校地学研究室	新規	北海道摩周火山の噴火履歴とマグマ供給系の変遷	報告書
9	2019-Y-火山5	大場 武	東海大学・理学部	新規	マグマ起源物質の地球化学的モニタリングによる火山性流体挙動解明および火山活動評価	報告書
10	2019-Y-火山6	齋藤 武士	信州大学・学術研究 院理学系	新規	火山ガス観測による焼岳火山の活動評価とガス輸送システムの解明	報告書
11	2019-Y-火山7	鹿児島 涉悟	東京大学・大気海洋 研究所	新規	北海道摩周周辺における火山熱水活動の地球化学的調査	報告書

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	研究課題	報告書
12	2019-Y-火山8	知北 和久	北海道大学・大学院理学研究院	新規	八幡平火山～秋田・駒ヶ岳の熱水流動系が周辺水域に与える影響評価: 広域的火山活動と田沢湖関連水域との関係	報告書
13	2019-Y-火山9	伴 雅雄	山形大学・理学部	新規	蔵王山、過去約800年間の活動の噴火推移の類型化	報告書
14	2019-Y-災害誘因評価・即時予測1	地引 泰人	東北大学・大学院理学研究科	新規	2018年1月の草津白根火山の噴火における緊急時の災害情報伝達に関する研究	報告書
15	2019-Y-史料・考古1	橋本 雄太	国立歴史民俗博物館	新規	歴史災害研究のオープンサイエンス化に向けた検討	報告書
16	2019-Y-史料・考古2	石辺 岳男	地震予知総合研究振興会・地震調査研究センター	新規	有感地震記述ならびに震度の距離減衰式に基づく地震活動解析	報告書

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆高エネルギー素粒子地球物理学公募研究（研究期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日）
（高エネルギー素粒子地球物理学に関連する技術開発研究課題）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	担当教員	研究課題	報告書
1	2017-H-4	多米田 裕一郎	大阪電気通信 大学・工学部	最終 年度	武多 昭道	汎用宇宙線計測用計測制 御装置の開発	報告書
2	2018-H-1	田中 宏幸	東京大学・地 震研究所	継続	田中 宏幸	地下埋設物探査用孔井内 ミュオグラフィ観測装置の 開発	報告書
3	2018-H-3	松島 潤	東京大学・大 学院工学系研 究科	継続	田中 宏幸	石油貯留層の密度分布モ ニタリングを目的としたミュ オグラフィの性能評価と適 用性の可視化	報告書
4	2019-H-1	武多 昭道	東京大学・地 震研究所	新規	武多 昭道	ボアホール埋設型ミュー オン検出器の小型化	報告書
5	2019-H-2	島添 健次	東京大学・大 学院工学系研 究科	新規	田中 宏幸	超小型エネルギー分解型 ミュオグラフィ装置の研究 開発	報告書
6	2019-H-3	野沢 勇樹	東京大学・医 学部附属病院	新規	田中 宏幸	X線治療のビーム照射検 証に用いる円筒形線量測 定器の開発	報告書

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。